

● 持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に向けたDAIKIの取組み：中期経営計画

◇ 今回の特集は、当社グループにおけるSDGsへの取組みを、2021年より始動する中期経営計画と合わせて紹介いたします。



最近このマークをよく見かけるね。
SDGsの言葉もよく耳にするよね。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

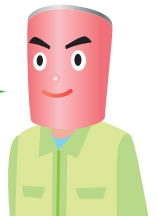


SDGsとは、2015年9月に国際連合サミットで加盟国の全会一致で採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。



そうそう。ESG というのも、最近よく話題になるよね。

ESGとは、**環境 (Environment)**、**社会 (Social)**、**ガバナンス (Governance)**の頭文字を取ったものです。今日、企業の長期的な成長のためには、ESGが示す3つの観点が必要だという考え方が世界的に広まってきています。ESGの観点は、企業の株主である機関投資家の間で急速に広がってきています。投資の意思決定において、従来型の財務情報だけを重視するだけでなく、ESGも考慮に入れる手法は「ESG投資」と呼ばれています。



◇ 当社グループは、持続可能な開発目標 (SDGs) のフレームワーク (i) を参照し、2030年に想定される「対応すべき外部環境の変化」と「大紀グループの事業活動に及ぼす影響～リスクと機会～」(ii) を考察しました。そこで抽出された課題のうち、「社会への影響度 (ステークホルダーからの期待)」と「大紀グループの事業における影響度 (事業機会・リスク・事業の持続性)」の両評価軸でマテリアリティ分析 (重要度評価) を行い、優先的に取り組むマテリアリティ (重要課題) を特定しました (iii)。

これらのプロセスを経て、2030年のビジョンとして『DAIKI ∞ NEXT ∞』を設定しました。

「対応すべき外部環境の変化」と「大紀グループの事業活動に及ぼす影響～リスクと機会～」(ii)

		事業活動に及ぼす影響 ～リスクと機会～	
		地球環境の変化	社会環境の変化
対応すべき外部環境の変化	地球温暖化・環境負荷低減	低炭素・脱炭素社会への貢献 CO ₂ 排出量削減 排熱・再生可能エネルギー活用	
	循環型社会 ～Circular Economy～	リサイクリング社会への貢献 LCA ^(※) 基準で環境性評価を行うお客様へ素材メーカーとして協力 リサイクル技術高度化への挑戦 廃棄物低減 脱プラ対応に向けた新素材としてのアルミニウム=マルチマテリアル化	
	100年に一度の自動車業界の大変革	働きがい・生きがいの醸成 働き方改革・ダイバーシティの推進 安全・安心な職場環境	電動車への素材供給 車両軽量化・電動化対応としてのアルミニウム=マルチマテリアル化
	労働人口減少・高齢化		
	企業の社会的責任の高まり	サステナビリティを意識した企業活動 誠実な会社としてのコーポレートガバナンス・コンプライアンスへの取り組み	

※LCA (Life Cycle Assessment) : ある製品、サービスのライフサイクル全体 (資源採取-原料生産-製品生産-流通・消費-廃棄・リサイクル) で環境負荷を定量的に評価する手法

持続可能な世界を実現するため、17の目標と169のターゲット、232の指標から構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを宣言。SDGsは発展途上国のみならず、先進国も取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

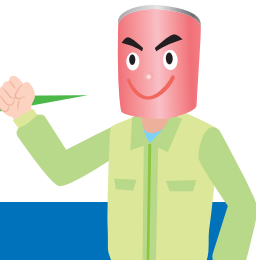


SDGsフレームワーク (i)

1 貧困をなくそう	1. 貧困をなくそう あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	2 飢餓をゼロに	2. 飢餓をゼロに 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する	3 すべての人に健康と福祉を	3. すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	4 質の高い教育をみんなに	4. 質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
5 ジェンダー平等を実現しよう	5. ジェンダー平等を実現しよう ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	6 安全な水とトイレを世界中に	6. 安全な水とトイレを世界中に すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	8 働きがいも経済成長も	8. 働きがいも経済成長も すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク (働きがいのある人間らしい仕事) を推進する
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る	10 人や国の不平等をなくそう	10. 人や国の不平等をなくそう 国内および国家間の格差を是正する	11 住み続けられるまちづくりを	11. 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする	12 つくる責任 つかう責任	12. つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
13 気候変動に具体的な対策を	13. 気候変動に具体的な対策を 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	14 海の豊かさを守ろう	14. 海の豊かさを守ろう 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する	15 陸の豊かさを守ろう	15. 陸の豊かさを守ろう 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	16 平和と公正をすべての人に	16. 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
17 パートナリシップで目標を達成しよう	17. パートナリシップで目標を達成しよう 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化						

上の「SDGs17の目標」の中から、特に当社グループの事業と親和性の高い13の目標を取り上げ、2030年までに何をすべきか考えました！ つぎに、地球環境・社会環境の変化が事業活動に及ぼす影響を考えました！ そして・・・

環境面ではカーボンニュートラルを考慮して、CO2削減目標を設定！！

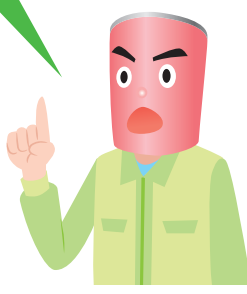


マテリアリティ (重要課題) を特定 (iii)

当社グループのマテリアリティ (重要課題)



社会への、また、大紀グループの事業における影響の大きさを評価し、特に重要度が高い課題を特定しました。



● 持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に向けたDAIKIの取組み：中期経営計画

◇当社グループは、優先的に取り組むマテリアリティ(重要課題)を特定し、中長期に目指す姿を『5本の柱』として決めました。

2030年のビジョンに向けた重点目標設定『5本の柱』 『5本の柱』と対応するSDGs・ESG

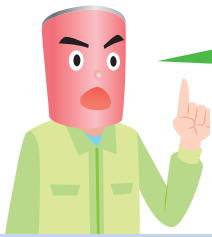
重要課題を5本の柱に掲げました。それぞれの柱を推進し柱間の相乗効果を生み出します。



*グローライゼーション：グローバルイゼーション+ローライゼーション

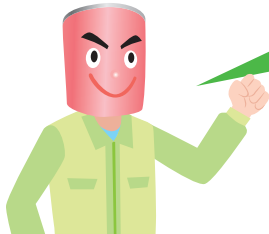
◇『5本の柱』に取り組みを掲げ、それぞれの柱を「幹」→「大枝」→「小枝」に展開し、3年毎のアクションプランを策定。2030年の目指す姿の実現に向けた第一次中期経営計画『オール大紀 Sustainability Vision ~100年企業 その先へ~』を2021年よりスタートしていきます。





環境にやさしい取組みを特に取り上げて紹介します。

◆「柱Ⅲ 地球環境保全」 二酸化炭素排出量削減への取組み



【目標】 2030年CO₂排出量 2019年度比25%削減!!

柱Ⅲ
地球環境保全

- 生産や流通過程における二酸化炭素排出削減
- 製造工程で発生する廃棄物ゼロ
- 無煙・無臭化の確立

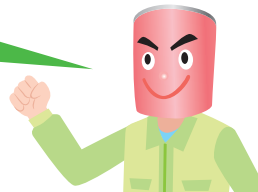
2030年目指す姿 トータルCO₂排出量削減 2019年度比▲25%

項目	主な対策	項目毎CO ₂ 削減率	全体に及ぼすCO ₂ 削減率	
生産関係	再生重油	保持炉リジェネ化・排熱有効利用・生産性向上	11.4%	3.6%
	軽油	リフト車両のEV化	90.0%	0.7%
	LPG	トリベ予熱レキュバーナー増設	8.1%	0.1%
	都市ガス	リジェネ化・排熱有効利用・生産性向上・トリベ予熱レキュ化	8.3%	0.6%
	電力	高効率モーター・太陽光パネル設置・生産性向上	12.0%	0.9%
流通関係	トラック燃料	最短流通の整備	5.0%	0.1%
原料関係	新塊※	新塊に代わるリサイクル原料の使用率アップ	40.0%	19.6%
		トータル	25.6%	

※LCA (Life Cycle Assessment : P5注釈参照) の観点から新塊が製造され入手されるに至るまでのCO₂排出量は10,000kg-CO₂/tであるため原料としての使用を削減すれば大幅にCO₂排出量の削減に繋がる。

◆「柱Ⅳ 地域や社会の貢献と発展」 周辺地域との交流と貢献

【目標】 2030年 地域に信用・信頼される会社!!



亀山工場：周辺道路清掃活動



週に1度の工場外周の清掃、回収した飲料缶も即リサイクル、CO₂排出量削減にも寄与!!

柱Ⅳ
地域や社会の貢献と発展

- 成長著しい新興国における雇用創出と地域社会への貢献
- 周辺地域との交流と貢献

海外でも、みんなで楽しく植樹、CO₂回収にも寄与!!



DAT No.1工場 チョンプリ県：植樹活動参加



DAT No.2工場 ラーン県：植樹活動参加